

【科目名】老年期理学療法学		【担当教員】松林 義人							
【授業区分】 専門（理学療法治療学）	【授業コード】 3-17-0665-0-2	(メールアドレス) matsubayashi@nur05.onmicrosoft.com							
【開講時期】3年次 後期	【選択必修】選択	(オフィスアワー)							
【単位数】1単位	【コマ数】8コマ	水曜日以外の在室時							
<p>【注意事項】</p> <p>(受講者に関わる情報・履修条件) 臨床医学や理学療法全般に関わる知識が必要です。</p> <p>(受講のルールに関わる情報・予備知識) 配布資料による講義と実技を行う。</p>									
<p>【講義概要】</p> <p>(目的) 老年期での疾病や障害の発症は寝たきりになる要因となり、理学療法の介入は寝たきりを予防するためにも必要不可欠である。老年期理学療法学では老化に伴ってみられる身体的変化や精神的変化についての理解を深め、老年期に頻発する特有な疾病や障害（パーキンソン病、骨折など）に対する理学療法の介入方法について学修することを目的とする。</p> <p>(方法) 老年期に頻発する疾患について理解を含め、理学療法の介入方法について講義を行う。</p>									
<p>【一般教育目標(GIO)】 老化に伴う身体的変化や精神的変化の成因、病態、予後について理解し、機能障害の回復促進、身体機能の維持及び向上に対する理学療法の介入方法について習得する。</p> <p>【行動目標(SBO)】 老化に伴う様々な要因を把握し、適切な理学療法について理解することができる。</p>									
<p>【教科書・リザーブドブック】 特になし（資料を配布する）</p>									
<p>【参考書】 講義にて紹介する。</p>									
<p>【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績基準は本学学則規程の GPA 制度に従う。 記述式試験を実施する。</p>									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		0	0	100	0	0	0	0	100
評価	取り込む力・知識	0	0	50	0	0	0	0	50
	思考・推論・創造の力	0	0	50	0	0	0	0	50

平成 26～28 年度入学者用

指 標	コラボレーションとリーダーシ プ	0	0	0	0	0	0	0	0
	発表力	0	0	0	0	0	0	0	0
	学修に取り組む姿勢	0	0	0	0	0	0	0	0

【授業日程と内容】

回数	講義内容	授業の運営 方法	学修課題(予習・復習)	時間(分)
1	高齢者のリハビリテーション 身体的変化と特徴	講義	講義内容をまとめ、理解す ること。	30
2	高齢者の身体的変化 (サルコペニア)	講義	講義内容をまとめ、理解す ること。	30
3	高齢者に精神的変化の特徴	講義	講義内容をまとめ、理解す ること。	30
4	認知症の病態像と理学療法の介入効果	講義	講義内容をまとめ、理解す ること。	30
5	転倒・骨折に対する理学療法の介入効果	講義	講義内容をまとめ、理解す ること。	30
6	脳血管障害に対する理学療法の介入効果	講義	講義内容をまとめ、理解す ること。	30
7	パーキンソン病に対する理学療法の介入効 果	講義	講義内容をまとめ、理解す ること。	30
8	まとめ	講義	講義内容をまとめ、理解す ること。	30

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。